

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス川越教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 8日		～ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	2024年 11月 25日		～ 2024年 12月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生徒一人一人の特性や希望に応じた専門性のある支援	体験時に保護者や本人の様子を聞いたり実際に支援にあたることでアセスメントを取る。 利用時にも絶えずアセスメントを取っていくことで本人の成長や現状の困り事などの記録を取り次の支援に繋げている。	生徒によっては支援計画や特性の理解を本人にも広げていくようにしている。その際、本人が望んでいることを前提に保護者にも確認を取ってから実施している。 学齢的な成長に応じて必要な支援や取り組みも変わってくるのでそれに合わせて対応していく。
2	保護者との積極的な情報共有や相談に応じること	日々のお迎え時にコミュニケーションを図り、困り事や相談に応じている。 保護者面談などまとまった時間を設けることもある。 事業所内だけでは把握が難しい課題についても認識できるのでそれも支援に活かせるようにしている。	相談事項によっては他施設との関係者会議が必要だったり他事業所の見学が必要なこともあるので実施していく。
3	利用者の状態に合わせて、楽しく自立に向けた訓練を受けられる環境設定	日々の訓練やイベントなどはどういった療育的効果を狙っているのかを指導員間では明確にしている。 一方で利用者に対してはまずは楽しいこと、を重視し本人が進んで訓練を受けたいことを意識している。	利用者のニーズに合わせてイベントや訓練内容をより充実させるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの狭さを感じることにについて	主に運動系の訓練を行う際に活動スペースが狭いと感ずることがある。	公園に行って遊ぶなど市の資源の活用や、狭いスペースでも楽しめるような活動の充実を図る。
2	他事業所、他施設との交流について	体育館で遊ぶイベントは実施しているが、回数としてはそう多くない。 異年齢との交流は事業所内でも行えるが、長く通っている生徒ほど「初対面の人との関わり」の機会が限定されるように感じる。	ニーズに応じて機会の充実を図る。 また、外出を伴うイベントを実施するなどして初対面の人との関わりや公共施設の利用等マナーを経験できる機会を提供する。
3			